

2. 【Do】目標達成に向けた取組み状況

資料1-3

◆ 目標達成のための事業内容 ◆

●・・具体的取組有り

目標	施策	事業	R7達成状況	R7取組状況
【目標1】 公共交通を「支える」「活用する」地域住民の活動促進	1.公共交通を「活用」する市民の意識づくり	1.観光列車やイベントでの市民による活動	○	沿線園児が列車に手を振る歓迎や、食堂車の乗客を日本大正村の方が駅で歓迎
		2.地域イベントと連携した公共交通の活用	○	JRさわやかウォーキング(6月、R8.3月予定)、まちなか市(5月10月)、みのじのみのり祭り(9月)、WRC(11月)、ウィメンズラリー(11月)、六斎市(R8.3予定)等と連携
		3.SLの復元を通じた地域づくり	○	SL乗車体験(年4回／343名参加)、SL運転体験(年10回／193人)ふれあいイベント(R8.3予定)、SLファンクラブ加入促進、SL復元準備委員会の設立(計1回)
		4.待合時間に有効活用できる結節点	○	R5.7より商業施設2Fに「恵那未来キャンパス」開設。20時まで利用可能
	2.公共交通を「支える」市民の活動促進	1.明知鉄道が有するさまざまな価値の発信	○	明知鉄道連絡協議会、交通会議にて情報発信、開業40周年事業の開催(記念フリー切符、デジタル鉄印、スタンプラリー、子ども無料デー11月)
		2.沿線環境の整備	○	地域住民による沿線景観整備・駅舎花壇の手入れ、阿木高、恵那農業高生による駅舎装飾(門松設置、イルミネーション)
		3.収入源の拡大	●	グリーン会員証、明知鉄道1日乗車券(市内バス無料)の販売(企画切符:SLデザイン、ジョルダン追加)、明知鉄道定期代補助制度の継続
		4.モビリティマネジメントの推進	●	公共交通シンポジウムの開催(R8.3予定)、公共交通乗り方教室の開催(7回)、えーなワンコインパスポートの発行(210件／12月現在)、高齢ドライバー安全運転相談会の開催(5月)、高校通学モデルコースチラシの配布(中学3年生:10月)、高校生向けの公共交通利用促進チラシの作成配布(10月)、えーなまち得公共交通応援事業の開始(12月)、はたらくのりもの広場(R8.3月予定)、ふれあい列車の運行、食堂車の運行、あみもの列車の運行(新企画)、バス時刻路線マップの作成配布、PR動画の配信
	3.運転手確保に向けた取り組み	1.交通事業者との連携による募集活動	○	中津川・恵那おしごとフェア(8月)、バス運転手合同説明会(12月)への参加
		2.資格取得の奨励策の調査・検討	△	バス事業者による大型二種免許取得費用補助制度の実施
【目標2】 持続可能な地域公共交通ネットワークの形成	1.地域全体の総合的な公共交通ネットワークの形成	1.恵那駅周辺での循環線の新設	●	まちなか巡回バスの運行、シェアサイクルのステーション拡大(8月藤太郎、R8.1月岩村駅、茅の宿とみだ) 運行内容の改正【上矢作デマンド交通(3月 毎日運行、ミーティングポイント移設)、明智デマンド交通(3月10月ミーティングポイントの追加)、岩村デマンド交通(8月臨時運行 10月事業者変更 目的地の撤廃】、山岡＝瑞浪線のバス停の移設と名称を瑞浪市コミュニティバスと統一(益見パロ一前)、東濃鉄道明智の減便(10月)
		2.バス路線の見直し	●	
		3.明知鉄道の1時間1本化	○	準パターンダイヤ一部設定
	2.快適な公共交通利用環境の整備	1.施設の更新	○	鉄道施設の整備、バス車両の更新(明智まちなか線:1両／5月)
		2.P&R、サイクルトレンの推進	○	サイクルトレンの実施(9件13名/4月～12月)
		3.鉄道・バス共通1日乗車券の発売	△	明知鉄道1日乗車券(提示で市内バス運賃無料)の販売 今後鉄道も含めて検討
	3.関係者との連携強化	1.恵那峡線・大井町東線・大井町西線・明智線の改善・利用促進	○	恵那峡線、大井町東・西線を地域公共交通会議の協議路線とし一的な利用促進を実施
		2.隣接自治体との関係強化・組織間ネットワークの充実	○	R5より東濃鉄道明智線を維持確保するため、恵那市及び瑞浪市と欠損金の一部を支援。R8.9も継続支援の協定を締結
【目標3】 域外から来た人や高齢者が抵抗なく自然に移動できる環境の整備	1.当地域に適したMaaSの実現	1.運賃のキャッシュレス化	●	1日乗車券のキャッシュレス化をR5.3に開始。R7.3月自主運行バスのデジタル回数券及び定期券、PayPayの導入、東濃鉄道デジタル回数券の実施
		2.人とアプリによる「交通コンシェルジュ」	●	恵那市交通コンシェルジュ(人・WEB)をR4.10から運用開始。WEBサイトのデザイン変更及び機能の拡充
		3.日帰り旅コースの設置・運用	○	市交通コンシェルジュ内で公共交通を利用した「小旅」10コースを掲載。追加4コース作成中
		4.定額制乗り放題運賃・年間パスポート	○	市内バス1日乗車券をR5.3発売。えーなワンコインパスポートの販売継続
		5.モードを跨いだ運賃設定	○	市自主運行バスと東濃鉄道営業路線の運賃の統一をR5.3に開始
		6.移動データの取得	○	AI画像認識技術で映像を数値に変換した移動データの可視化を導入
	2.新たな技術を活用した付加価値の向上	1.自動運転の導入推進	○	東濃地域自動運転推進コンソーシアムの広域連携による自動運転EVバス実証実験運行(地区:岩村城下町 期間:10月～11月 利用者:710名)
		2.EV車両の導入推進	○	同上自動運転EVバス体験試乗会の実施、イベント時のc+podの試乗会
	3.バリアフリー化を通じたサービスアップ(現状維持から発展へ)	1.駅舎などのバリアフリー化	△	明知鉄道WEBサイトにおける駅の設備状況の公開
		2.ボランティア車掌の創設	✗	未検討
	4.観光列車の推進	3.外国語案内・バス系統番号の表示	○	コンシェルジュポータルサイト内一部外国語対応。バス系統番号を全バス車両に設置
		1.観光列車と広報・周知の充実	○	イベント時における観光列車の周知
		2.観光列車やイベントでの市民による活動(再掲)	○	事業1-1-1